

私をこみぱに
連れてって!!

4



私をこみぱに 連れてって!!

いままでのあらすじ

千堂和樹は、駆け出しの同人作家。大学に入って、初めて同人誌即売会を知ってから、夢中になって新刊を作る日々を暮らしている。

高瀬瑞希は高校時代のクラスメート。漫画を書いている和樹を面白くなく思いながらも、いろいろな手伝いをする毎日だ。

そんなある日。

和樹が『夏こみ』で、今度は男性向け創作をやると言い出す。男性向け創作が18禁であることを知らなかった瑞希は同人誌を見て、大激怒。

だが、和樹は、怒っている瑞希をうまくなだめすかして、デッサンのモデルになることを承諾させてしまう。

それからしばらくして――

和樹は、今度は「お尻でのシチュエーション」を書きたいから、モデルになってくれと言い出す。

瑞希は、またまた大激怒。だが、和樹は、怒っている瑞希をうまくなだめすかして、お尻に協力することを承諾させてしまう。

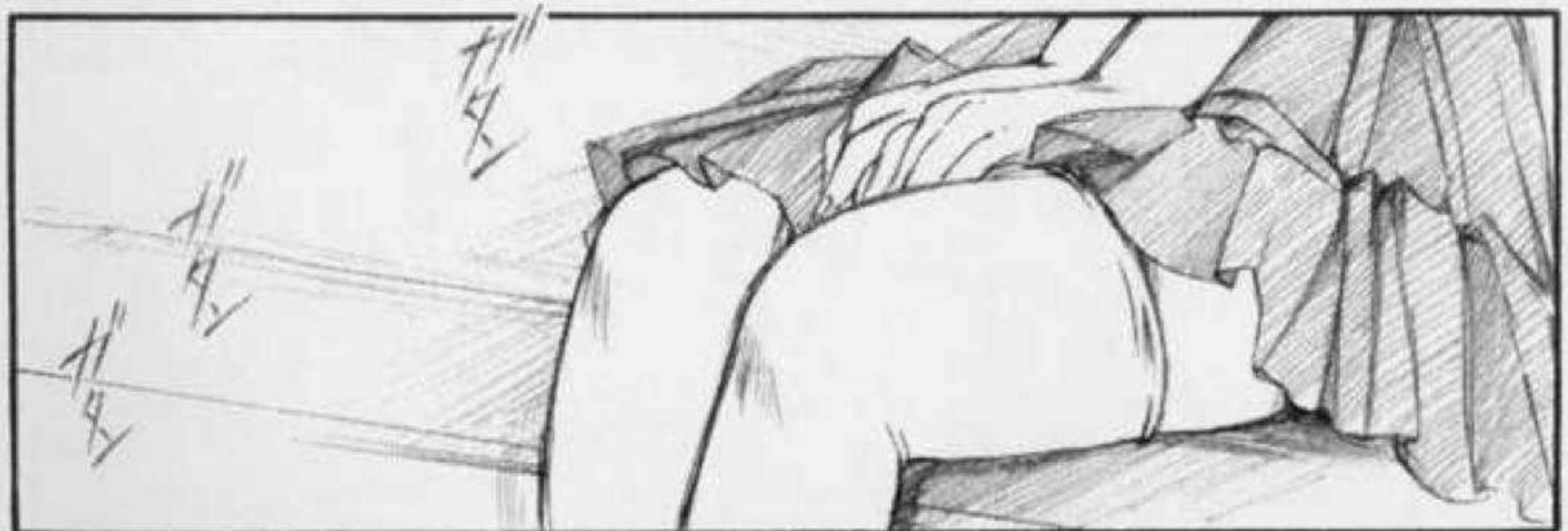
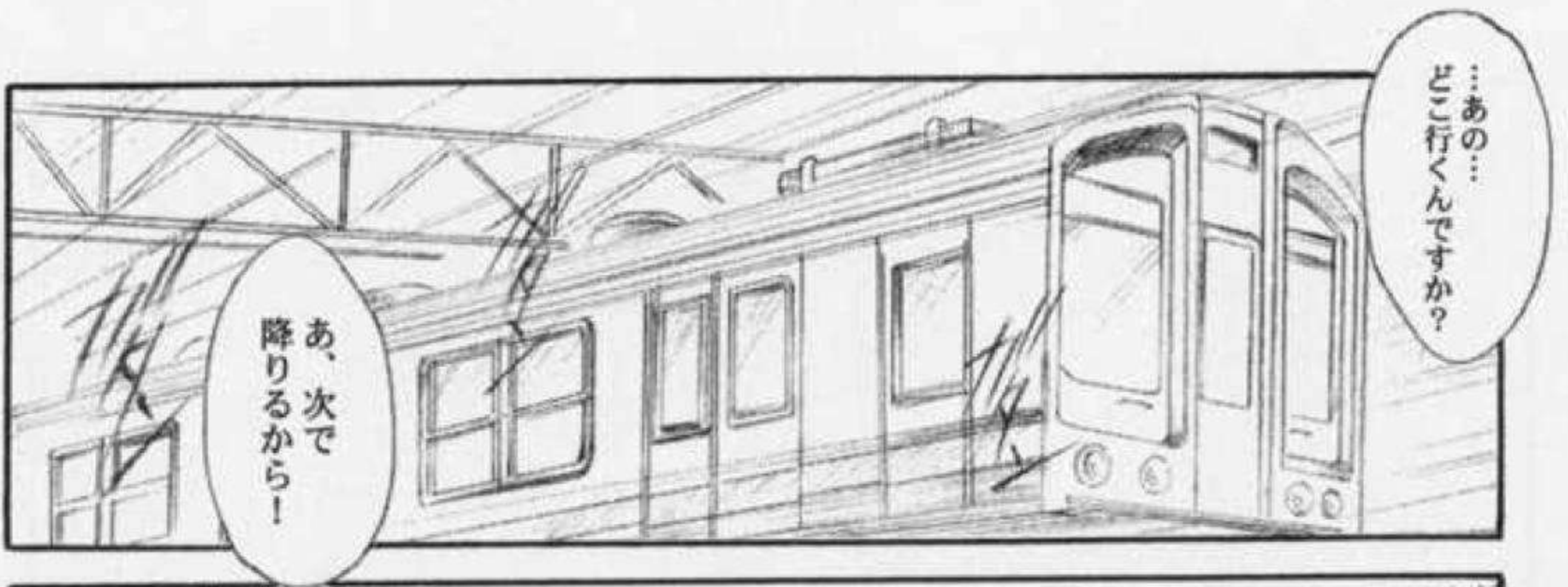
事が終わって二人がぼんやりしているところに、同人の友達がやってくる。二人はあわてふためいて、なんとか身なりを整えるが、その友達は、和樹と瑞希のセックスのビデオを手に入れてしまうのだった。

それからしばらくして、和樹は超大手サークル「CAT OR FISH?」の大庭詠美と大学の帰り道に出会う。

詠美は持って回った言い方で、自分も男性向け創作を書いてみたいと言い出す。実は詠美は、和樹が書いている男性向け創作が気になっていたのだ。

「男性向け創作を描こうにも経験はないし…」と話す詠美の真剣な思いに感激した和樹は、男性向け創作の実践指導を始めるのだった。

そのころ…何も知らない瑞希はビデオを持っている男に呼び出されていた…

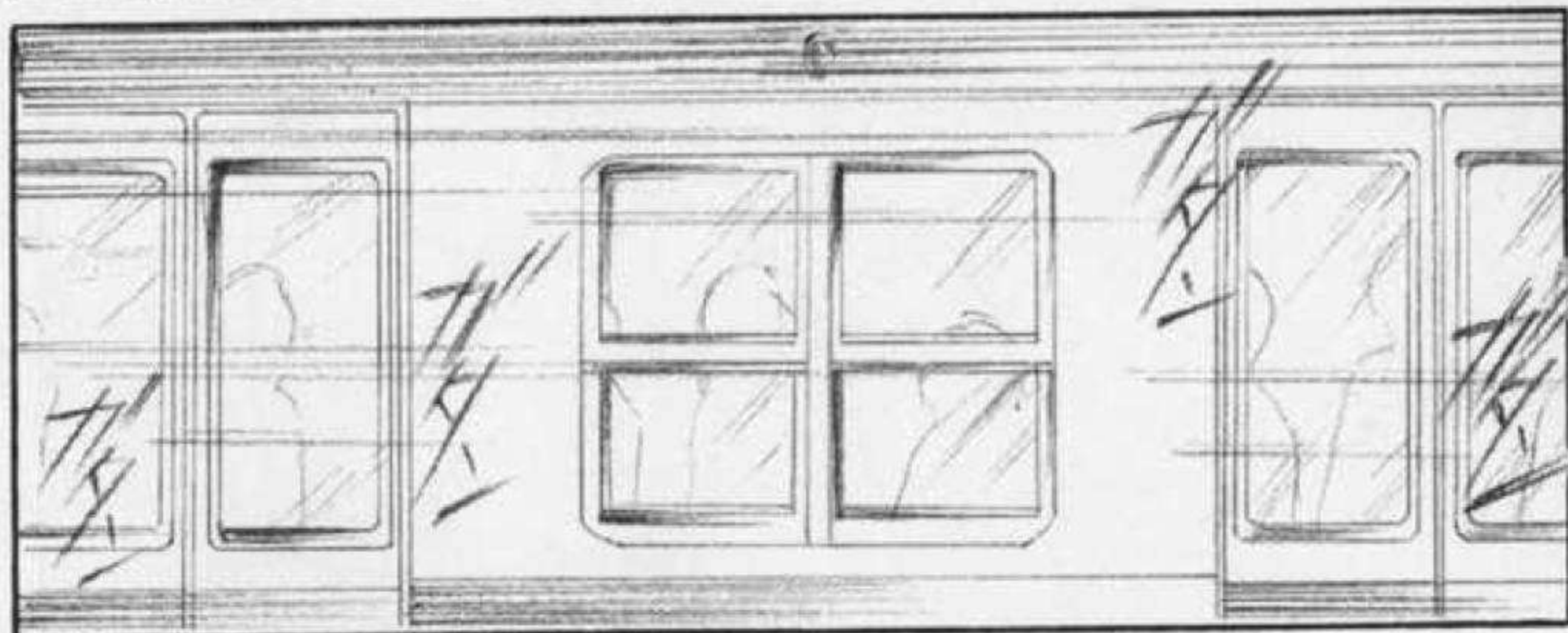


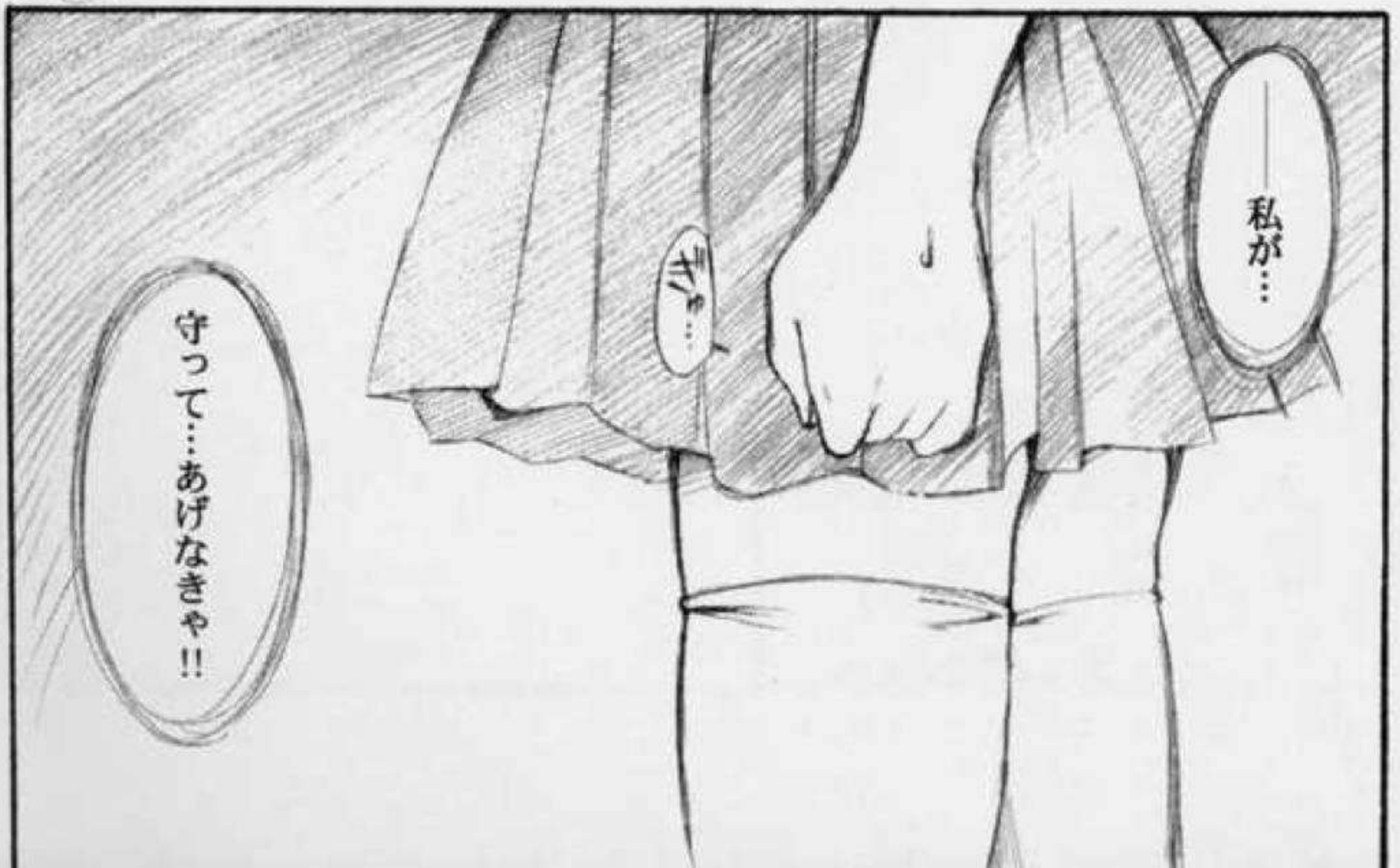


…まあ
見ればすぐわかると
思うけど？

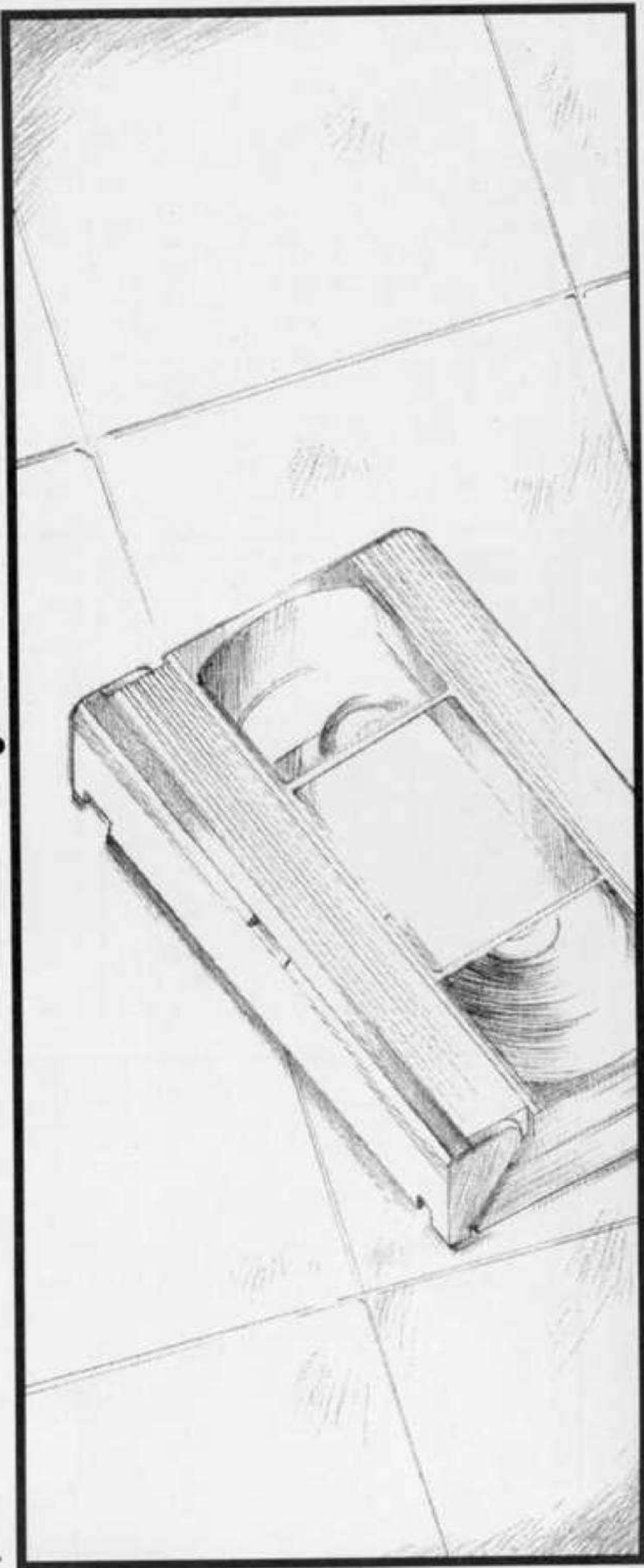


……？





私をこみパに連れてって!! **4.**



あいざわひろし



こんちわーっ

勝手に
盛り上がっちゃってまーす

うわおっ
本物っ!!

!

ほらほら入ってー

カキ

こいつら俺の
サークルの奴らなんだ

あ
俺たち瑞希さんのことは
充分知ってるから!

そりやもう
ええ!

知ってるどころか!
ナニからナニまで!!

.....

.....え.....

.....え!?



!?



いいい



な...

お樹



なんで!?



返してツ!!

おっと



こんなアシスタントも
してるなんてねえ...

いいなあ和樹さん
こないないモデルがいて——
しかも実戦実話って感じだしなあ

いや...



俺達さ——こんなん
見ちゃってどーするよ?

そーと——
ヤバヤバって感じ
なんだけど?

な...

やっぱいいはね〜

俺達のモデルにも
なってもらおうしか
ないでしょう！

ねえ？
瑞希たん！

いつ

いやあ！！

…いやだってー

ふーん

いいのかなー

じゃあこの
ビデオはー

バラマキの刑ってなんだ
了承済み？

ほん

俺、ホームページ
もってるしー

全世界に発信！
なんちゃってー

こんなのあつという間に
広まって噂になっちゃう
よなーっ

一番困るの
誰なんだろうね

だからあ

ちょっと俺らの
サークル活動に
つき合ってくれねばな

どござよう！！

こんな…
こんな事に
なっちゃうなんて

さ—て
何からしてもらおう
かな—

俺さ—瑞希ちゃんのビデオ
みながら毎晩毎晩
オナニーしまくってたんだよ

このおっぱい
今日はいっぱい
なぶらせてもらおうからネ

……
……

や…やめて…

さ…さわらない…で

ほらほら、あのビデオ
みたいにノリノリで
やってくれなきゃ!

いやッ

もちろん
こっちも好きだよね?

いやだよ!!

こんな…こんなこと…
したく…ないよお…

そういうほうが
萌えるんだよね!!

やっ



!!

ぴん



は——い
今日のパンティは
しましまで——す♡

おまえ
そういう属性!?
俺は断然
白だけどな

お——ツ
萌え——ツ



やめてえっ

お——っエロ——い

いいながめだせっ

手にあまつちやう
よなあく〜
このオツパイ

けっこー
揉まれてんじゃあ
ないの？

いーん
におい

やらしいなア
瑞希ちゃんはっ

同人だと
貧乳萌えとかゆーけど
実際揉むなら、やっぱ
巨乳だよなーっ

ほらッ
乳首責めッ

やつ

やつばな
乳首敏感だよ
こいつ かたくなつてきたっ

…あ…う

こつち
濡れないな

なんだよ
ちゃんと感じさせて
やれよ

み—ずきちちゃん！

ふっ!?

何これっ

のどがっ

熱いっ

かはっ

あれ？
ウイスキー—苦手？

じゃ、俺は
チューハイ！
レモン味っ

んむっ

俺も—っ

口うつしで
飲んで飲んで—っ

くるしっ

にが…っ！



もいっかい
チユ—しよ—

んっ

んっ

ん—っ

んっ

こっちも
こっちも

瑞希ちゃんの
くちびる
やわらけ—っ

げ

げ



すげ
すげ—っ

らるる



んう—っ

んっ



おっ
ぬめってきたっ—



もっと
広げろよ—

せし

んやん

ん—っ

……やあっ……

……ああ……
すげーっ
生だよ生!!

俺にも
見せろっ

瑞希ちゃんも
見る？

ほーら
みてみて

とられちゃった!

やっ

おい、後で
Rにやいてくたよー

じゃ
俺、味見係ねっ

ひ

ひやっひ

ん

やめてよおッ



エロゲーじゃ
ここみえねえもんなあ

うっ

おっ

おつまみ発見——

いただきま——す♡

あうんっ

じゃ、俺、こっちの
おつまみね

お——
もう乳首びんぴん

おい、胸、あんま
こっち近っけんあッ

あ

ひあッ

やうっ



瑞希ちゃんも
そろそろ
食べたくなくなっちゃったん
じゃない？

…あ…



さ—て
瑞希ちゃんのおつゆも
まぶしてつと

ちゃんと
撮つとけよ—



お—濡れる
濡れる！

準備完了かな—つ



や…めっ

やっ



ん

さあ...

いつ

や

お

じぶ...じぶ...

いれちや...

いやあああ

だめえっ

...され...ちやった

和樹以外の...人に...

こんなの...

こんなの...

きつと...

夢だよ...

早く……せめて……

あう

あ

こんなひどい夢

や

う……すげえいいっ

あう

本当のわけないよッ

こいつの乳首
最高だぜッ

あッ

だすぜえッ

でっでるッ

早く……起きて……

いやッ

やあ

和樹……起……して
いかなきゃ……

あ

や



…あ



はい
でいいよー

いろいろ
相談してみたらーっ



お

和樹さんからだ



ケータイ 誰だ？

瑞希ちゃんのじゃん！

さあ？

もしもし？
あ、瑞希？

なんか、さつき電話
くれたみたいなんだけど…

…あ…

…うん…
べつに…大した用じゃ
な…かった…し…

あ…そう…

あ、そうそう
ちよつと俺も
瑞希にいつておこうと
思ったことがあったんだ

チキ…

次の「こみバ」さ…
売り子…いらなくなったんだ

…え？

瑞希もいろいろ忙しいのに
ここんと頼んで
悪かったなって思って…
ありがとな

今回はさ、なんとか
こつちで
やってみるからさ…

はいよー
ソフトお待たしー

…そ…そっか
…そうなんだ…

うん、俺は何か
あつたひびきしてへん…

あ

あ

まっ

い…

て…



もしかして
瑞希ちゃん
フラれちゃったのー??

あーあら……
かわいいぞ

ひどいな
和樹さんもこんな
かわいい子をさ

でも大丈夫! これからは
俺達がかわりになって
あげるからさ

そぞぞ



これで瑞希ちゃんは
俺達のサークルの
メンバーってわけだ

まさかこれっきり
なんて思ってたないよね

これから毎回
売り子もして
もらおうぜ

やりたいことを
楽しく気持ちよくやる!

まさに同人活動の
基本っすね



じゃ、お勉強会
二時間目いきますか

この毛
剃っちゃいますね

つるつるの方が
俺的萌えなんで!

それじゃ
いつきま——すー!

な!?

いやっ

いや

アムロ
いきま——すー!

ぬるぬるだから
そのまま
そっちやいまーす

動くと
あぶねえってー!



……も……

……あたし……



ぶっ



すっげ
ぶりっぶりだ

うっ

んっ

じゃあつるつるの
赤ちゃんにミルク
あげましょーね

こんな……はずかしい……
からだ……

こんな汚れた…からだ…

和樹になんか…
みせ…られな…い…

あ

ああああ

…あたし…

…さささ…



…うん



どうしたの？
さっきからソワソワしてる
みたい

なんでもないよ

さあ

To be continued



次巻最終話
(予定)



HIGH RISK REVOLUTION 2002